

ひょうご

# 職親会だより

1997. 9 設立記念号

## 兵庫県精神保健職親会 発足にあたって



兵庫県精神保健職親会  
会長 森本 稔  
(森本鐵工株式会社)

### ごあいさつ

このたび皆様方の御理解、御協力により、「兵庫県精神保健職親会」が結成、発足しました。

経過報告をかねて、御挨拶申し上げます。

1 昨年末、県下の職親事業所の研修及びネットワーク作りをし、日頃の訓練状況、又、職親の夢と悩みを語り合い、社会復帰について、その特性に留意しつつ、訓練から雇用に連なる努力をしようとの機運があり、県立精神保健福祉センターで研修会が実施されてきました。

平成8年度、全国職親会研修会があり参加都道府県の現状を聞きまして本県も、是非職親の組織作りが必要と痛感し、県及びセンターに報告しました。又、活発に活動されている、京都府職親会の田中会長の講話もあり、組織作りを主題とした研修会が地区別に3回実施されました。

地域的に考え、阪神、南播磨、北播磨の3ブロックから発起人が選ばれ発起人会も出来ました。

歯車が回りだしました。

県、神戸市、姫路市、尼崎市に県センター、杉浦所長さんに同行、協力をお願いし、保健所を通

じて、登録事業所に積極的に働きかけていただきました。

事務局についても、県立精神保健福祉センターをお願いし、結成総会、式典記念講演等が、担当の方々の努力で決定。

7月1日、当日晴天、準備万端OK会員並びに関係者、賛助会員の方々120名の出席。お願いしておりました来賓の方々も全員、御出席いただき、盛大なセレモニーが出来ました。

記念講演は、森下神経内科診療所長の森下先生に「夢」を語っていただきました。

先生は職親でもあり、「社会的自立を援助する、熱意と理解を有する事業所」と規定されておりますが、正に、そのものと感銘しました。

7月25日、東京で平成9年度の全国職親会の総会及び企画会議があり、参加しました。

そこで、研修会は具体的内容にし、登録されている職親の全事業所の参加に努力し、併せて、関係団体との関係を積極的に進める事が当面の課題だと、気づきました。

以上、今日までの経過を申し上げましたがこれから本番です。

いろいろな面で是非、御支援、下さる事を心からお願いします。

かなかなを 船出を祝う 声と聞き

森 本 稔  
合 掌

## 兵庫県精神保健職親会設立 を祝して



全国精神保健職親会連合会  
会長 井出利彦

兵庫県精神保健職親会の結成、お目出度うございます。京都府・沖縄県につづき、この度、兵庫県職親会が設立されまして、私共全国職親会にとりまして、大変な心強さを感じております。職親会会員各位の御協力と、尚結成にむけて、御支援を頂きました、行政及び各関係機関の方々に厚くお礼申し上げます。

昭和62年7月、全国職親会連合会が発足をいたし、丁度10年目をむかえました。そして、13番目としての設立は、私共にとって、大変意義深いものと考えます。

昨年7月19日～20日の両日、栃木県に建設されました「ハートピアきつれ川」(特殊法人精神障

害者社会復帰促進センター)において、研修会の席上、森本氏が「来年度には必ず結成を目指して頑張ります」と力強く発言をいたしました。その偽りのない言葉は今でもよく覚えております。

現在、職親にとって、全国的な経済不況の中での活動は大変なものと考えられます。兵庫県職親会が立派に設立されたことは、これからの結成にむけて、準備中の各県にも大きな刺激を与えることになりましょう。

最近、一般社会での完全失業率は、3.4%と発表されております。これは精神障害者にとっては非常にきびしいものと考えます。

全国職親会連合会では、常に厚生省、労働省に要望書を提出し、職親に対する助成の問題について、要望を重ねて参りました。今後も更に、積極的に活動を行ってゆく方針に変わりありません。

精神障害者の社会復帰促進、雇用問題は未だこれからの課題として、その道程はかなり大変なことと考えます。全国職親会連合会も、各県の職親会と協力のもと、拡充を計り「ノーマライゼーション」を目指した諸問題に取り組んでいきたいと考えます。

兵庫県精神保健職親会の御発展と、職親各位の御奮闘を御期待申し上げます。

## 兵庫県精神保健職親会発足を祝して

(社)兵庫県精神障害者家族会連合会  
会長 西浦三郎

今回、関係各位のご尽力により、兵庫県内の社会適応訓練事業の協力事業所の有志の方々が結集されて、『兵庫県精神保健職親会』を無事発足を迎えられましたことを、精神障害者家族連合会を代表しまして心からお慶び申し上げます。

青年期に発病しやすい精神障害者にとっては、働く意欲があっても、就労経験の不足や服薬継続など、精神障害者特有の制約により、働く場の確

保が非常に難しい状況です。そのため、社会適応訓練(通院患者リハビリテーション<職親制度>事業)は、自立をめざす精神障害者にとっては、今や欠かせない制度の一つになっています。

精神障害者にご理解のある職親会の益々のご発展をお祈りするとともに、一人でも多くの精神障害者が、職親会のご支援により、自立と社会復帰の機会が広がりますようお願いしております。

## 祝 辞

兵庫県保健部長 後 藤 武

本日、兵庫県精神保健職親会設立記念式典が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げますとともに、会の設立にご尽力された発起人の方々のこれまでのご苦勞に敬意を表します。

また、こころの病を持つ方々への理解者が少なく、その雇用制度も十分でない現状で深い理解を持って、温かい支援の手をさしのべていただいている職親の皆様方に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

兵庫県では、地域精神保健福祉対策、社会復帰対策、老人精神保健対策、精神医療対策の4本の柱をたて、精神保健福祉対策を総合的に推進しています。

とりわけ精神障害者の自立と社会参加を促進するための社会復帰対策については、県の障害者計画「すこやかひょうご障害者福祉プラン」に、職親制度をはじめとする各種事業の推進を位置付けて、精力的に取り組んでおります。

精神障害者が、地域の中で生活し、働くことや、いろいろな生活体験を積み重ね、自信を回復していくことが、社会復帰への一歩となります。その大きな手助けになっているのが職親の皆様方のご支援であり、この支援の輪は、着実に広がっています。

このような中、兵庫県精神保健職親会が設立されることは、誠に有意義であり、会の今後の活動に大いに期待しております。

また、ここにお集まりの関係者の皆様には、本会へのより一層のご支援をお願いします。

最後になりましたが、兵庫県精神保健職親会の今後のご発展と、ここにお集まりいただいた皆様のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 祝 辞

神戸市保健福祉局長 矢 田 立 郎

本日、兵庫県精神保健職親会設立総会が開催されるに当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃から職親として精神障害者の疾病再発防止と社会的自立の促進に務められ、日々ご苦勞を重ねられておられることに対し、心より感謝と敬意を表する次第です。地域における精神障害者の自立と社会参加が精神保健福祉の重要なテーマとなっているこの時期に、皆様方が一致協力して、兵庫県精神保健職親会を設立されたことは、まことに喜ばしいかぎりであり、今後のご活躍を期待しております。

さて、皆様ご承知のとおり、国レベルでは、平成7年12月に「障害者プラン」（ノーマライゼーション7か年戦略）が策定され、障害のある人もない人も共に生活する地域社会の実現を目標とするノーマライゼーションの理念に基づき、施策の充実が図られております。神戸市におきましても昨年4月に精神保健福祉に関する事務が、大都市特例により兵庫県から移譲されたのを機に、「精神障害者福祉に関する意向調査」を実施したほか、市バスや地下鉄などの福祉乗車証の交付や制度的無年金者に対する特別給付金の支給、小規模共同作業所への補助の充実など精神障害者の自立と社会参加に向けた施策を実施しております。さらに、平成9年2月には、平成9年度から13年度までの5か年計画として「障害者保健福祉計画」を策定し、その中に精神障害者の保健・福祉全般にわたる施策を盛り込んでおり、現在、この計画の実現に取り組んでおります。本市の精神障害者保健福祉施策はまだ緒についたばかりではございますが、この場をお借りしまして、今後なお一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、兵庫県精神保健職親会のご発展をお祈りし、併せて、本日までご臨席の皆様方のご多幸を祈念いたしまして、簡単ではございますが、お祝いの言葉といたします。

## 副 会 長 よ り

兵庫県精神保健職親会

副会長 石 井 建 三

(イシイリネン株式会社)

私が精神障害を持っている人達と接する機会を得たのは平成2年10月15日近隣の市に、精神障害者の作業所が、開設され、その依託事業がきっかけでした。数ヶ月程して、通院リハビリテーション事業（通称通りハ）の制度を知り、実行に移り、作業所から一人、二人、三人と次第に職親として、関わっていきました。彼、彼女達に関わっていくにつれ、その方法、度合をどこでボーダーラインを引くのか、例えば、仕事上の悩み、対人関係、私生活の問題、病気の問題等、いろいろな面で、職親として、どのように関わればよいのか、悩むのは、多くの事業主（職親）に共通する問題であると思われまます。

以上のような観点から、今後は職親会を通していろいろな問題を論議し、職親間の横の連携を深め、兵庫県立精神保健福祉センターはじめ、主治医、保健所、行政の方々のアドバイスをうけながら、ご協力を得、一層の質の向上への一助になればと切望します。

## 平成9年度事業計画及び予算書

- 1 設立総会、記念式典及び記念講演の開催（7月1日）
- 2 研修会の開催（年2回、内1回は県立精神保健福祉センターと共催）
- 3 役員会の開催（年3回）
- 4 情報提供
- 5 全国職親会への協力
- 6 その他

（収入の部）

科目	予算額(円)	備考
年会費	183,000	3,000円×61事業所
賛助会費	121,000	1,000円×121口
寄付金	20,000	精神保健協会 10,000円 精神病院協会 10,000円
雑収入	400	利息
計	324,400	

（支出の部）

科目	予算額(円)	備考
講師謝金	50,000	総会30,000 研修会20,000
旅費	65,000	研修会講師5,000 全国研修会30,000×1人×2回
会場費	118,200	総会会場52,200 総会看板66,000
通信費	21,200	研修会80×61人 役員会80×7人 ×3回 情報提供80×61人×3回
事務費	30,000	消耗品（文具、封筒、コピーなど）
予備費	40,000	
計	324,400	

## 役員名簿

役職	氏名	事業所名
会長	森本 稔	森本鐵工株式会社
副会長	西村 稜威雄	西村商店
〃	石井 建三	イシイリネン株式会社
理事	米口 守	有限会社米口グリーンナーセリー
〃	細見 勝	伸和青果食品株式会社
監事	高嶋 秀忠	高嶋園芸
〃	上川 雄吾	株式会社金森商店

1997年7月1日、兵庫県精神保健職親会が設立され、記念式典及び記念講演会が行われました。

（於：兵庫県農業共済会館）



### 兵庫県精神保健職親会

事務局：

〒652 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-29

県立精神保健福祉センター内

Tel : (078) 511-6581

Fax : (078) 511-6585